

令和8年度の 収入支出予算が決定しました



去る、2月18日(水)に開催されました第178回組合会において、令和8年度の収入支出予算が承認されましたので、その概要をお知らせします。

【健康保険の予算の概要】

令和8年度予算は、収入支出ともに前年度に比べ44億4,933万1千円増額の1,569億5,473万5千円となっております。

経常収入においては、被保険者数および標準報酬月額増加により、前年度に比べ約86億4千万円増額の約1,504億53百万円を見込んでおり、また、経常支出においては、後期高齢者の増加に加え被保険者数の増加や診療報酬改定の影響により、前年度に比べ約34億25百万円増額の約1,518億86百万円を見込んでおります。

収支状況は、改善傾向にあります。経常収支差引額は、約14億34百万円の赤字予算となっております。

■予算基礎数値

被保険者数	333,000名
平均標準報酬月額	340,000円
健康保険料率	99% (調整保険料率1.3%を含む)
介護保険料率	15.8%
子ども・子育て支援金率	2.3%

健康保険料

収入

▶ 健康保険収入 1,495億8,190万8千円
前年度比で85億73万9千円の増額を見込む

- 被保険者数を前年度に比べ8,000名増の333,000名で設定。
- 平均標準報酬月額は、前年度に比べ10,000円増の340,000円で設定。

支出

▶ 保険給付費 822億4,467万3千円
▶ 納付金 615億9,806万9千円
▶ 保健事業費 56億5,438万1千円

- 保険給付費は、過去の平均伸び率及び直近の医療費の動向を基礎に算出し、前年度に比べ、約9億53百万円増額し計上。
- 納付金の、「前期高齢者納付金」は、前年度に比べ約2億57百万円増額し計上、「後期高齢者支援金」についても前年度に比べ約18億60百万円増額し計上。これらの増額は、

診療報酬改定に伴い医療費の増加が見込まれることを踏まえた負担増である。

- 保健事業費は、「第4期特定健康診査等実施計画」に基づき、令和11年度における実施率目標に向け、これまでの実績を踏まえ、受診者等の精査を実施。また、健診料金の値上げによる影響も見込まれることから、前年度に比べ約2億70百万円増額し計上。

介護保険料

▶ 介護保険は収入支出ともに、151億4,400万6千円

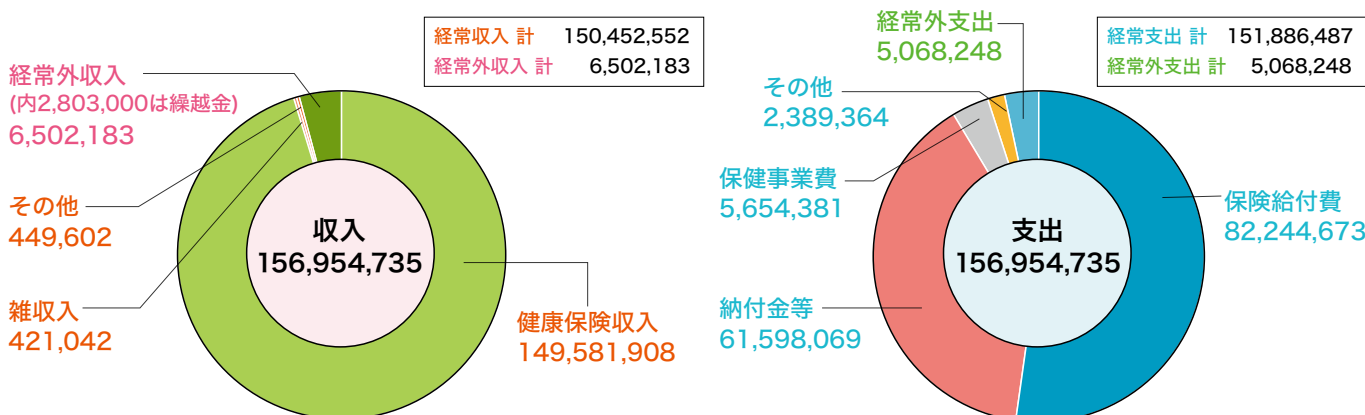
- 被保険者数の増加等により、前年度に比べ約10億24百万円の増額を見込む。

子ども・子育て支援金

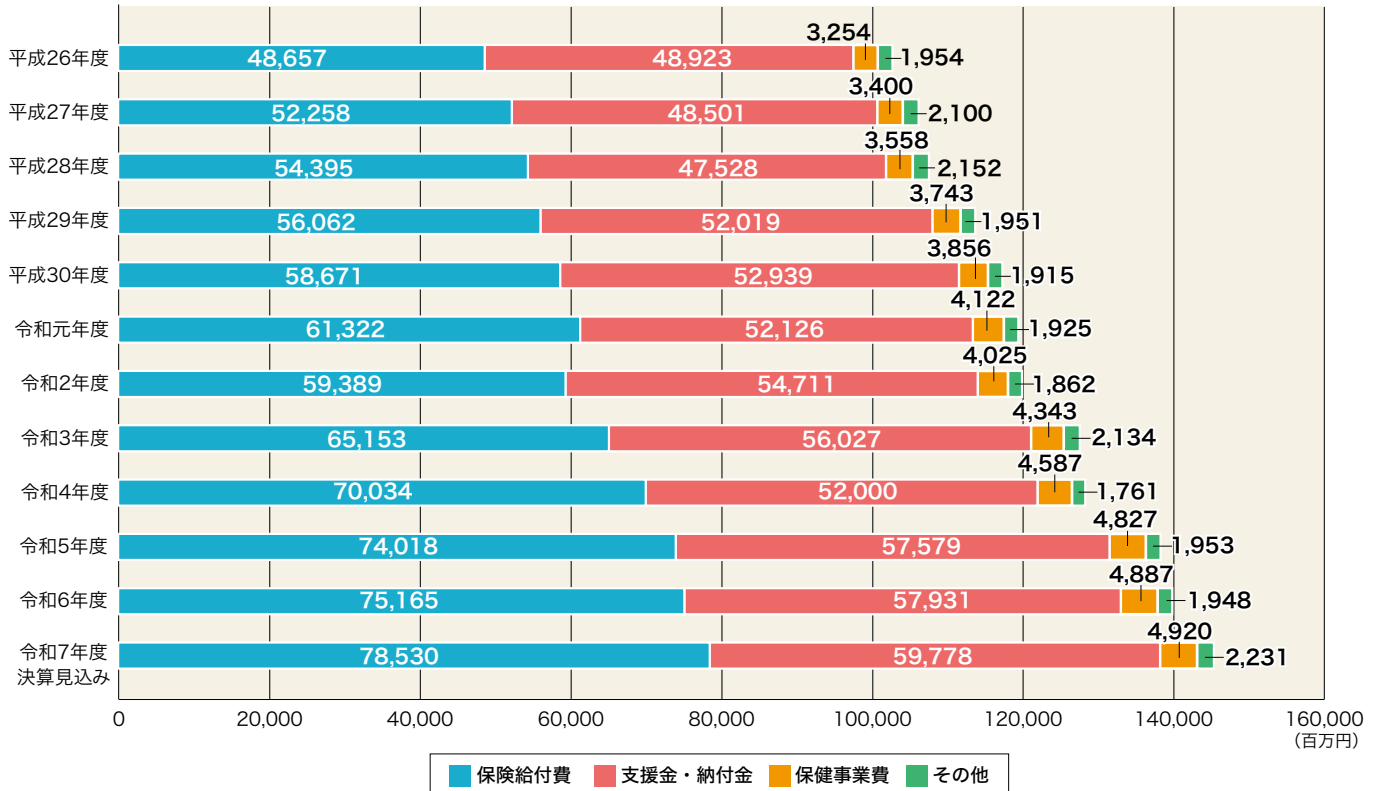
▶ 子ども・子育て支援金は収入支出ともに、32億6,504万4千円

- 社会連帯の理念を基盤に、子どもや子育て世帯を全世代・全経済主体で支える新たな分かち合い・連携の仕組みとして、令和8年4月分保険料より徴収を開始。

■収入支出予算概要表 (単位:千円)



経常支出内訳の年度比較



知っておきたい

医療費のいろは



こんな病院へのかかり方は、
お金がかかる

● 時間外・休日・深夜は割増料金

緊急性がないのに、「平日に行く時間がないから」「夜間の方が空いてるから」などといった理由で時間外受診していませんか？ また、「子どもの医療費は無料だから」と、安易に救急外来等を利用していませんか？**6歳未満の子どもは大人よりも高額な割増料金がプラスされ、実際にかかった医療費の7～8割はわたしたちの保険料から支払われています。**

● 紹介状がないと特別料金

紹介状なしで大病院を受診すると初診で7,000円(歯科で5,000円)以上の特別料金がかかります。

● はしご受診は医療費がかさむ

初診料、検査料、薬代などが病院ごとにかかるだけではなく、検査のやり直しや薬の重複など身体的なリスクも大きくなります。



こんな薬のもらい方は、
お金がかかる

● 先発医薬品は薬代に特別料金

もともと先発医薬品はジェネリック医薬品より高価ですが、令和6年10月からジェネリックのある先発医薬品を希望すると、差額を自己負担するしくみが導入されています。令和8年6月からはその割合が1/4から1/2に引き上げられ、先発医薬品にかかる費用はさらに上がる見込みです。

それでもジェネリックは不安という人は

● お試し調剤を試みる

短期間だけジェネリックを処方してもらい、体調や副作用等を確認できます。万が一、薬が合わない場合は元に戻すこともできます。

● オースライズドジェネリック(AG)を希望する

先発医薬品メーカーから権利の許諾を受けて、先発品と同じ原薬、添加物、製造法等で製造されるジェネリックです。

適正受診は日本の医療を守る!?

大病院の外来に軽症の患者が集中したり、急を要しない軽症で救急外来を受診する人が増えると、本当に緊急度の高い患者の受け入れが難しくなります。また、現場が疲弊したりして医療の質や安全性が低下する恐れもあります。

わたしたちにできることは?

● かかりつけ医をもつ

身近な診療所やクリニックで、気軽に相談できるかかりつけ医を決めましょう。必要に応じて専門医や大病院も紹介してもらえます。

※地域医師会のホームページ、厚生労働省「医療情報ネット(ナビイ)」で検索できます。

● 夜間や休日の相談先を調べておく
夜間や休日に受診するかどうか迷ったら、まずは電話相談やホームページなどを利用してみましょう。

【大人】#7119 【子ども】#8000

こども 救急 <https://kodomo-qq.jp>
の救急 ※公益社団法人 日本小児科学会